

プラスチック製収納用品の生産高日本一

見せる収納、選べる収納を目指した家庭用収納用品。



ト 開 →
閉 た
が く
簡 さ
単 ン
な の
「 を
H 入
G 入
テ れ
エ も



同社は、押入れ収納、クローゼット収納、リビング収納、小物収納と様々なプラスチック収納用品を製造・販売している。

今ではどの家庭にもあるプラスチックの「クリア収納ケース」を開発したのは同社のアイデア。「収納は隠す」といった当時の常識を破り、モノが探しやすい収納が欲しいというニーズに応じて「見せる収納」を目指し、1988年に中身の見えるケースを発売した。

現在では、「選べる収納」をコンセプトに、引き出しを増減できる着脱式フレーム、スペースにフィットするサイズ展開、子供部屋でも使える安全な素材など、多様化されたニーズに応える収納用品を次々に開発している。

日本一の経緯	プラスチック製収納用品国内シェアがホームセンター市場 40%。全国のホームセンター、GMS、通販などで販売されている。
技術のポイント	引出しに金属レールを採用し軽い力でも引き出せるようにするなど、木材、金属を融合させたハイブリッド型の収納商品を多く扱う。生活シーンに合ったより使いやすい収納用品を開発している。
企業の特長	「もっと快適に、もっと便利に」をコンセプトに日々の生活の中の不満を解決する商品を開発している。ペット用品・収納家具・ガーデニング用品・オフィス用品などが代表的商品。
希望取引先	【販売先】ホームセンター、スーパー、ドラッグストア、専門店など 【購入先】各種原料メーカー、OEM 製品供給メーカー

代表取締役社長
大山 健太郎



事業内容●生活用品の製造・販売
設立●1971年
資本金●1億円

従業員●2246名
事業所●本社＝宮城県仙台市青葉区五橋 2-12-1 TEL022-221-3400
工場＝北海道、宮城(角田、大河原)、静岡、滋賀、兵庫、佐賀
ホームページ●<http://www.irisohyama.co.jp>
Eメール●support@irisohyama.co.jp

電子機器用タクトスイッチ[®]の生産高世界一

身近な電子機器に幅広く使われる入力スイッチで世界シェア 40%。



「タクトスイッチ[®]」
12.5mm 薄形サイトスイッチ
TM (表面実装) タイプ
「SKC」シリーズ



「タクトスイッチ[®]」は、携帯電話、携帯ゲーム機等の小形機器や、液晶TVやHDDレコーダー等のAV機器、車載用の操作パネルなどに幅広く使用されている、軽快なクリック操作感を伴う信号入力用操作スイッチである。

2006年には、宮城県角田工場での累計生産数量は550億個、同社の全世界での累計生産数量は700億個を達成。世界市場でシェア約40%を確保している。

独自の材料技術、金型技術、製造技術を集結し、2006年、世界最小レベルの小形機器向けの製品を開発。様々な市場ニーズに対して豊かな製品群により、さらなる市場シェア拡大を図っている。

世界一の経緯	信号入力用として「タクトスイッチ [®] 」を開発し 1976 年より生産を開始。その後、電子化・小形化で進展する市場ニーズに合わせた製品を、他社に先駆け開発・投入してきた。多彩な製品群に裏打ちされる技術力、製品信頼性、グローバルでの生産対応能力の高さを国内外に広く認められ、世界市場での No.1 シェアを維持している。
技術のポイント	独自の材料技術、金型技術、製造技術を生かし、市場要求の高い小形・薄形化の実現、多機能化を可能としている。
企業の特長	1948 年に創業した総合電子部品メーカー。人とメディアの快適なコミュニケーションを創造する「美しい電子部品」を、暮らしやビジネスを支える多彩な電子機器に提供している。
希望取引先	【販売先】国内外の電機、携帯機器、自動車メーカー等

代表取締役
片岡 政隆



事業内容 ● 情報通信機器、パソコン、
車載電装などの部品の製造・販売
設立 ● 1948 年

資本金 ● 236 億 2300 万円
従業員 ● 6290 名
事業所 ● 角田工場 = 〒981-1595
宮城県角田市角田字西田 6-1
TEL0224-63-1211 FAX0224-63-1399
本社 = 東京
ホームページ ● <http://www.alps.co.jp>

携帯電話バックアップ用電池・キャパシタの生産量世界一

携帯電話やデジタルカメラなどに搭載されるバックアップ用電池・キャパシタ。



ー本社工場



同社はセイコーインスツル(株)の子会社として、長年、時計用酸化銀電池の製造を行ってきた。

近年、携帯電話やデジタルカメラに代表される携帯機器におけるバックアップ用ボタン型の二次電池・キャパシタの需要が増加し、同社の中心製品もバックアップ用電池・キャパシタに移行している。

特に環境にやさしい、鉛を含まないハンダによるリフロー実装(Pbフリーリフロー自動実装)が可能な二次電池・キャパシタは携帯電話の世界大手メーカー各社に採用され、世界トップクラスのシェアを有している。

世界一の経緯	環境配慮型のマイクロ電池・キャパシタを中心とした製品を、世界大手メーカーへ製造・販売。近年の携帯電話の市場成長に合わせて、バックアップ用の電池・キャパシタの顧客数・出荷数量を伸ばし、小型バックアップ用電池ではトップシェアとなっている。
技術のポイント	小型・薄型サイズの高耐熱リフロー製品を実用化。また、水銀・鉛を含まない環境配慮型の酸化銀電池の製品化に成功。
企業の特長	顧客ニーズを先取りした環境配慮型製品の設計・開発を一貫して行っており、顧客ニーズの変化に短時間で対応可能。また、フレキシブルな製造体制を構築している。
希望取引先	【販売先】携帯端末メーカーやデジタルカメラ等のメーカー 【購入先】—

代表取締役
佐々木 毅



事業内容●電子部品、移動体通信用バックアップ電池、腕時計用銀電池、特殊金属材料、磁石の製造・販売

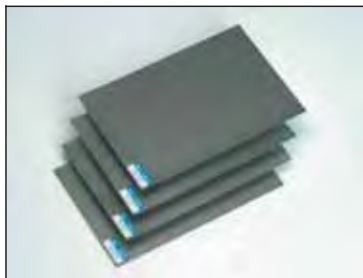
設立●1994年 資本金●4億8780万円 従業員●315名 事業所●本社＝宮城県仙台市青葉区上愛子字松原45-1 TEL022-391-9331 営業所＝東京

ホームページ●<http://www.siimp.co.jp>

Eメール●smpsoumu01@siimp.co.jp

電磁ノイズ抑制シートの生産高日本一

携帯電話等から発生するノイズをカットするデバイスを開発。



携帯電話、デジカメ、パソコンなど電子機器の高性能化に伴い、電磁ノイズの増加が深刻化している。

ノイズ抑制シート「バスタレイド」は、特殊な磁性材料をシート状に加工したもので、ノイズ発生源やノイズ伝送路に貼り付けるだけで空中に放射されるノイズをカットするデバイスである。

同社では携帯電話、デジタル家電市場等で確固たる地位を築いている。

また、回路上でのノイズを吸収するタンタルコンデンサもトップシェアを確立しており、2種のコンビネーションにより、機器の高性能化を支えている。



→タンタルコンデンサは他社製品に比べて小型で容量が大きい。そのため、機器の小型化にも貢献している。

日本一の経緯

世界に先行した製品開発戦略に加えて、発売後も改良を重ね新製品を投入し、他社の追従を許さないことにより、世界トップシェアを確立した。

技術のポイント

ノイズ抑制シートも、タンタルコンデンサも技術の源泉は材料。当社発祥の礎となった金属磁性材料「センダスト」と、導電性高分子の技術が活かされている。

企業の特長

最先端デバイスの創造を通して、自然環境と融和しつつ、世界の人人や社会への繁栄に貢献している。

希望取引先

【販売先】電機メーカー、携帯電話メーカー等
【購入先】—

代表取締役社長
仲田 武彦



事業内容 ● 電子材料・電子部品の製造及び販売
設立 ● 1938年

資本金 ● 129億9021万円
従業員 ● 22000名(連結)
事業所 ● 本社 = 宮城県仙台市太白区郡山 6-7-1 TEL022-308-0014
工場 = 仙台・一関・タイ・ベトナムなど
支店 = 東京・大阪・名古屋・福岡など
ホームページ ● <http://www.nec-tokin.com>

天然原石硯の生産量日本一

天然原石による硯(すずり)の生産量で国内約90%のシェア。



天然原石による硯の生産高で国内90%のシェアを有す「雄勝硯」は、約600年の歴史と伝統を誇り、伊達政宗も愛用したことで知られている。依然昔ながらの手作りの製法により、硯工人の腕一つで丹念に彫り上げられている。

同組合は昭和59年に設立。翌年、国の伝統的工芸品として指定を受け、国、県等の補助により商品開発や硯のデザイン開発、異業種交流による新ブランドの立ち上げなど、産地交流を活発に展開している。また、職人氣質の向上を図るべく伝統工芸士認定事業を受け、雄勝硯伝統工芸士として3名が活躍し、雄勝町の復興に努めている。

→露天掘りにより、重機等を使い原石を採石。



日本一の経緯	雄勝硯は応永の昔より名硯として賞美され、以来600年の歴史と伝統を誇り、依然昔ながらの手作りの製法により、硯工人腕一つ、呼吸一つで丹念に彫り上げている。
技術のポイント	雄勝石は北上山登米層古二畳紀に属する黒色硬質粘板岩で光沢・粒子の均質さが優れ純黒色で圧縮・曲げに強く吸水率が低く、科学的作用や永い年月にも変質しない性質を持っている。
企業の特長	昭和60年5月に通商産業大臣より国の伝統的工芸品の指定を受ける。全国の硯産地との競争において、雄勝石の特性を活用した商品開発で、顧客満足を目指している。
希望取引先	【販売先】— 【購入先】—

代表理事
澤村 文雄



事業内容 ● 玄硝石による硯の製造・販売・指導業
設立 ● 1984年

出資金 ● 186万円
従業員 ● 21名
事業所 ● 本社＝宮城県石巻市雄勝町雄勝字寺53-1
TEL0225-57-2632
ホームページ ● <http://www4.familie.ne.jp/~suzuri/>

非拡散対流型天井ファンシステムの生産高日本一

冷暖房費の節約で「省エネ大賞」他多数の受賞。



「エコシルフィ」は、天井ファンによる室温均一化システムとして国内唯一の商品である。拡散しない直線的な風向きで強制対流を発生させ、室内の温度ムラを解消し、冷暖房費を最大 30%節約することに成功。平成 13 年度「省エネ大賞」、「省エネルギーセンター会長賞」、「14 年グッドデザイン賞」、15 年度「エコマーク認定」受賞。結露やカビの発生を防止するなどメリットが多く、利用用途の拡大で着実に実績を高めている。

また、同社は長年にわたり、焼ちくわ製造装置も製造しており、その技術を応用した「きりたんぼ自動製造装置」もシェア日本一である。

→きりたんぼの自動製造装置による焼上状況



日本一の経緯

室内環境改善と省エネ対応商品である「エコシルフィ」は、地球環境の保全を社会的責任と認識して開発された製品。天井直付型空気循環機意匠登録が特許庁より承認され、加えて宮城県より全商品が特定随意契約制度認定新商品に指定された。また、「みちのく環境管理企画認証機構」より認証登録も受けている。

技術のポイント

空調機から吹き出される暖気・冷気を対流させて温度ムラをなくす技術。

企業の特長

ユーザー・取引先・地域社会の喜びを創造。明るく、元気に働き、学び、自己の人格を研鑽。進取独創の気概を持ち、希望を求め努力向上する企業。

希望取引先

【販売先】総代理店、代理店、二次代理店 【購入先】—

代表取締役
高橋 悌二郎



事業内容●電気工事業、電気通信工事業、機械器具設備工事業
設立●1975年

資本金●6000万円 従業員●39名
事業所●本社＝宮城県石巻市門脇三ツ股 56
TEL0225-96-4140 FAX0225-93-8090
支店＝仙台 商品開発部＝石巻
ホームページ●<http://www.kitakami.co.jp>
Eメール●info@kitakami.co.jp

ふかひれスープの生産高日本一

水揚げ日本一漁港の優位性を活かし、新鮮・安全な製品づくり。


 産 → 最先端の衛生技術で生
 産されている。


昭和 62 年に発売を始めた「ふかひれスープ」は、グルメブームの波にも乗り、一躍ヒット商品となった。それ以来、気仙沼がふかひれ加工日本一として全国的に浸透。このカテゴリーでは、現在国内シェア 40%を占める。

他にも乾燥ふかひれ、ふかひれスープ（缶詰・レトルト・業務用・市販用・ストレート・濃縮）、ふかひれの冷凍・レトルト、ふかひれ粥、茶碗蒸しなどを製品化し、アイテムの拡大で消費者のニーズに対応。原料となるふかひれは、サメの水揚げ日本一の気仙沼港から、地の利を活かして全量調達している。

今後も、多様化する消費者のニーズに応えられる製品づくりに取り組んでいく。

日本一の経緯	サメの水揚げ日本一の気仙沼の地場特産品の優位性を活かし、加工製品アイテムの多様化で消費者ニーズにマッチしたことがシェア拡大につながった。
技術のポイント	平成 16 年 3 月 26 日、社団法人大日本水産会の「HACCP 方式に基づく水産食品製造工場」として認証された。品質・衛生管理に万全を期して、製品づくりに臨んでいる。
企業の特長	「人はみな、また我々に関係する人はみな豊かでなければならぬ」との経営理念で事業を展開。人々の健康に直接ふれることのできる「味のこころ」を追求している。
希望取引先	【販売先】水産商社、百貨店、スーパー 【購入先】漁協、水産商社

 代表取締役
 山本 武次


事業内容 ● 水産物加工・缶詰・レトルト
 食品の製造・販売
 設立 ● 1984 年

資本金 ● 2000 万円
 従業員 ● 159 名
 事業所 ● 本社 = 宮城県気仙沼市浜町
 1-6-13 TEL0226-22-5300
 工場 = 気仙沼市内 4 カ所
 ホームページ ● <http://www.kesenumahotei.co.jp>
 E メール ● kesenuma@hoteifoods.co.jp

専門業種向け作業用長靴の生産高日本一

ゴム長靴の生産・販売数日本一。



専門業種向け作業用長靴(ゴム製、樹脂製)において、同社は国内 25~30%のトップシェアを確保している。

中でも現在の主力商品である軽量ゴム長靴は、国内で始めて同社が開発、商品化した。従来品に比べ約 25%の軽量化を実現し、水に浮く軽さで疲れにくいと好評だ。

他にも、国際的食品安全衛生基準(HACCP)に対応した食品工場向けの抗菌・防滑・耐油性長靴(塩ビ製)など、専門業種向け作業長靴から一般・レジャー用まで、それぞれの作業環境にあわせた、品質、機能性に特徴のある商品を幅広く取り揃えている。

→従来品に比べ、約25%の軽量化



日本一の経緯	ゴム長靴は現在、年間約 300 万足を製造販売しているが、創業以来一貫して専門業種向けのプロユース商品を主体に製造販売をし、それらの技術ノウハウを最大限に活かして一般生活ユース商品も幅広く取り揃え、日本全国に販売している。
技術のポイント	創業以来 70 年以上にわたり培われた独自の配合技術、製造技術を駆使し、様々な作業環境にあわせた機能商品を提供。
企業の特長	創業以来、ゴム加工品、ビニル加工品の分野で、家庭用をはじめ工業用、産業用など様々なところで活躍している。
希望取引先	【販売先】全国代理店、大手靴量販店、靴専門店、大手スーパー、ホームセンター、ワークショップ 【購入先】—

取締役社長
西井 英正



事業内容●ゴム・ビニル製品の製造・販売

設立●1935年 資本金●1億円

従業員●344名

事業所●本社＝宮城県仙台市若林区河原町 2-1-11 TEL022-214-3011

工場＝亘理・北陸 支店・営業所＝東京・名古屋・大阪・福岡・浜松・札幌

ホームページ●<http://www.kohshin-grp.co.jp>

Eメール●webmaster@kohshin-grp.co.jp

呼吸性ゼオライト内装材の生産高日本一

呼吸性調湿建材というジャンルを国内外で初めて確立。



ゼオライトは、石油化学の触媒、工業用吸着剤、水処理剤等として利用される。同社は昭和38年、仙台市上愛子に良質な天然ゼオライト鉱山を発見し、採掘加工したことに始まる。

ゼオライトの多くの機能を生かした製品作りに取り組んでいる中、湿気を吸ったり吐いたりして室内の湿度を平均化する呼吸性建材が誕生。呼吸性能は木材の3倍。有害な化学物質を吸着する。建材としての不燃認定。グッドデザイン賞も受賞した。

国内唯一のメーカーとして、美術館・収蔵庫等、空気質管理が重要な空間及び住宅の内装材などに多くの実績を有している。

日本一の経緯	ゼオライトなどの無機系多孔質材料を用いた調湿建材の特許を取得。ゼオライト系調湿材メーカーは当社のみ。調湿材は中～高湿度域で高い性能を示し、脱臭やVOC抑制にも効果を発揮する。
技術のポイント	調湿建材として素材の吸放湿性を最大限に生かすため、抄造法により成型し、従来のプレス加工ではできなかった大型化を可能にした。また、ファイバーの均一性、配向性を任意に制御し、マトリックス中の空隙率を最適化し湿分移動能力を高めることができた。
企業の特長	人・社会・環境に向けてプレゼンテーションを続け、新たな市場を開拓・創造する。産学官共同により生まれた製品で、短期間での量産とコストダウンに成功。
希望取引先	【販売先】住宅等メーカー 【購入先】—

代表取締役
佐藤 徹雄



事業内容●天然ゼオライトの採掘及び
応用製品の製造
設立●1963年

資本金●4000万円
従業員●28名
事業所●本社＝宮城県仙台市青葉区
上杉 1-7-1 TEL022-225-2724
工場・研究室＝仙台市青葉区上愛子
ホームページ●<http://www.s-zeolite.com>
Eメール●postmaster@s-zeolite.com

一般家庭向け食用ゼラチンの生産高日本一

洋菓子から惣菜まで幅広く使用されるゼラチンのシェア 80%。



昭和28年に、家庭用ゼラチンパウダー「ゼライス」を発売。50年以上にもわたるロングセラー商品で、延べ300万ケース以上を販売。現在、家庭用ゼラチンとしては国内シェアの約80%を占めている。「ゼライス」はいまやゼラチンの代名詞になっている。

ゼラチンはコラーゲンから抽出、精製される無脂肪の良質な動物性タンパク質。栄養価が高く、低カロリーで消化吸収を助ける働きがあり、デザート類、チルド流通の弁当、惣菜など幅広い分野で使用されている。

また、近年の健康志向やコラーゲンブームにより、サプリメント的に使用する消費者が急増している。

→ おしゃれなデザートが手に楽しめる。



日本一の経緯

戦後間もなくの頃より食の欧米化に着目し、家庭向けゼラチンを他社に先駆けて発売。地道な販売活動の結果現在のシェアを獲得するに至る。

技術のポイント

ゼラチンの顆粒化により、溶解時間の短縮に成功。使いやすい1包5gの分封タイプ(5gで250ccのゼリーが作れる。)高グレードのゼラチンを使用しているため、様々な料理に使用可能。

企業の特長

常に、世界との競争を意識し、社員の3割を技術・研究・開発にあて、新商品の開発、新市場の開拓に注力。先進的コラーゲン「コラーゲン・トリペプチド」を開発。ユーザーより高い評価を得ている。

希望取引先

【販売先】—
【購入先】—

代表取締役
稲井 謙一



事業内容 ●ゼラチン及びコラーゲンの製造・販売
設立 ●1944年 資本金 ●1億円

従業員 ●153名 事業所 ●本社＝宮城県仙台市若林区若林4-1-4
TEL022-286-5121
営業所＝東京・大阪
工場＝仙台市若林区・多賀城市
ホームページ ●<http://www.jellice.com>
Eメール ●info@jellice.com

カナダ輸入住宅の供給戸数日本一

商社を通さず、1棟1棟パッケージで直輸入。高品質・低価格を実現。



「日本の住宅を世界水準並みの価格・性能にする」。この想いを実現する手段としてカナダ輸入住宅事業をスタート。96年の発売以来、供給戸数全国一位を実現しています。ここまでお客様に支持された理由は性能と価格、そして高いデザイン力である。

カナダの豊富で安価な森林資源と厳しい環境に耐えうる高い住宅性能、この住まいを商社を通さず1棟1棟直輸入することで、世界水準の性能と価格を実現。さらには多民族国家カナダらしい世界の様々なエッセンスを取り入れた外観デザインを取り入れ、多様なユーザーニーズに対応。ムク材や本格レンガを贅沢に使用し、本物の素材感を演出している。

→カナダ住宅は大きな吹き抜けがある。広いスペースであっても、経済的で快適に過ごせることができる。



日本一の経緯	カナダへ出向き、独自にサプライヤーを開拓。直輸入ルートを確認し、オリジナルブランドを構築。同時にフランチャイズ展開を進め、一気にネットワークを拡大し、平成8年より現在まで日本一を継続中。
技術のポイント	カナダの厳しい気候風土に耐えうる構造はそのままに、日本の湿度対策を施した。カナダ現地工場へ検査担当員を駐在させ、日本人が求める「高品質」を実現させている。
企業の特長	「Good Quality & Good Price そして Good Design」をテーマに掲げ、永く住み続けることのできる住まいを消費者のライフスタイルに合わせて提案、提供している。
希望取引先	【販売先】個人・法人 【購入先】—

代表取締役
新本 恭雄



事業内容●カナダ輸入住宅の設計・施工・販売
設立●1959年

資本金●1億円
従業員●200名
事業所●本社＝宮城県仙台市青葉区上杉2-1-14 TEL022-224-1111
支店＝宮城・山形・福島・横浜・大阪
ホームページ●<http://www.selcohome.co.jp>
Eメール●soumu@selcohome.co.jp

宮城 東北ゴム株式会社

エスカレーター用ハンドレールの生産高日本一

国内の大手メーカーに納入し国内シェア 60%。



ハンドレールはエスカレータを昇降する人々の安全を保ち、カラフルで汚れ難く長期間の連続運転に耐えられるよう特殊なゴム材料と補強材から構成されています。

同社では、国内の大手エスカレーターメーカー他、ほとんどのメーカーに納入し、国内シェアは60%に迫る実績を有している。

ハンドレールの種類は、一般的な室内用の他、耐候性に優れた屋外用、長距離(最大418m)の動く歩道用、曲走性に優れたタイプ、静音性に優れたタイプなどバリエーションが豊富である。同社はハンドレール以外にも、シート、ホース、成型品等の各種産業用ゴム製品を製造販売している。

→各分野のさまざまなニーズに対応する、軽量・耐熱・耐候性に優れたホース。



日本一の経緯

永年培った各種産業用ゴム製品のゴム配合のノウハウや設計・製造技術をベースとして、ハンドレールの高性能・高品質化を達成。更に製品バリエーションの充実等による。

技術のポイント

多種多様な表面色調の意匠性を満足させ、苛酷な使用環境に耐えるゴム材料と製品構造およびその製法。高品質維持管理の徹底。

企業の特長

経営理念は、①お客様本位で行動する会社 ②約束を遵守しスピードで実行する会社 ③従業員が明るく生き生きと前向きに働ける会社 ④社会に貢献する会社 をモットーに新しい技術で新分野に挑戦する企業。

希望取引先

【販売先】電気・通信機器、製鉄製鋼、等すべての産業が対象。
【購入先】各種素材・加工メーカー

代表取締役社長
山口 政男



事業内容●工業用ゴム製品の
製造・販売
設立●1943年

資本金●2億7600万円
従業員●240名
事業所●本社＝宮城県仙台市宮城野区港1-1-12 TEL022-387-1511(代)
本社工場＝仙台 支店＝札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・新潟・富山・福岡
ホームページ●<http://www.tohoku-rubber.co.jp>

微弱発光検出装置の生産高日本一

食品、半導体、塗料など広範囲に使われる酸化検知装置。



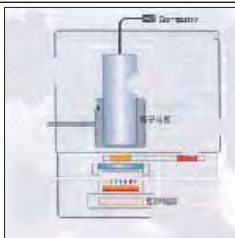
酸化する物質のわずかな光を捉える微弱発光検出装置で、世界シェア 8 割を誇る。強みは、世界最高水準の 50 光子から検出可能という感度。サンフランシスコで光る豆電球を東京から観測するくらいのレベルの高さだ。

発光現象からは、物質が酸化し劣化するスピードやメカニズムが分かる。

顧客の大半は大学や企業の研究機関。食品の劣化度を測る品質保持の研究や、薬が体の老化防止に与える効果の測定、半導体の結晶構造の分析、などに利用されている。

自動車の塗料開発では、同社の装置の採用で研究機関が 10 分の 1 に短縮され、塗料技術が飛躍的に向上した。

成
子
増
倍
管
「
試
料
室
」
で
構
一
熱
や
光
を
当
て
る
「
加
熱
制
御
機
」
光
を
検
出
す
る
「
光
電
子
増
倍
管
」
で
構



日本一の経緯	微弱発光検出装置の基本特許を取得し、他社の参入を防止。その上で、研究機関の実験にどのように生かせるかきめ細かく提案していった結果、年間 10~20 台が売れるようになった。
技術のポイント	手作業で作る最高感度の光電子増倍管を調達し、さらに自社基準を満たすもののみ選抜。通常室内で使えるように、ゴムパッキングで引き出し型試料室を完全遮光。管の周囲をマイナス 20 度まで冷やして、試料以外の自然界の電子雑音を抑えた。
企業の特長	「優れた技術を売る誇り高き商人」を創業の精神とし、高い技術力とその活用方法を提案する販売戦略とのバランスに評価。
希望取引先	【販売先】食品や医療、機械製品の塗料など幅広い分野 【購入先】—

代表取締役
佐伯 昭雄



事業内容 ● 電気通信機器、電子応用機器、医療用機器の製造・修理・販売
設立 ● 1968 年

資本金 ● 6000 万円
従業員 ● 70 名
事業所 ● 本社 = 宮城県仙台市太白区
向山 2-36-4 TEL022-266-1611
工場 = 利府 支店 = 東京
ホームページ ● <http://www.tei-c.com>
Eメール ● sales@tei-c.com

自動車エンジンバルブ用耐熱鋼の生産高日本一

特殊鋼のエキスパートとして欧米基準もクリア。



自動車エンジンの高出力・低燃費化に伴い、耐熱性に優れた材料が求められている。

同社は、高信頼性・高品質な自動車エンジンバルブ用耐熱鋼を供給しており、国内シェア 50%を占めている。同じく、電磁ステンレス鋼においても国内トップシェアである。

ISO14001、ISO9001 の取得のみならず、輸出対応のため、2006年に欧米自動車産業の基準であるISO/TS16949 を取得しているのは、素材業界では類がない。

また、ABS センサー・燃料噴射ポンプ部品等の精密加工技術や特殊鋼の製造技術で培われた熱処理ノウハウを生かし、高品質な熱処理加工を精力的に取り組んでいる。

日本一の経緯

東北大学金属材料研究所との産学連携により、高性能な新素材の開発から鋼材の製造及び、鍛造、切削、熱処理まで一貫して行なえる高級特殊鋼の専門メーカーとしてニーズに答えてきた。

技術のポイント

「技術を深め、ニーズに尽くす」をスローガンに掲げ、技術力の高度化を掲げ、製品開発とマーケティングを融合した製品を市場に送り出している。

企業の特長

東北大学および同金属材料研究所等との密接なパートナーシップもと、多くの新合金・新技術を製品化してきました。その開発分野は自動車関連部品、精密機器、医療機器など多岐にわたる。

希望取引先

【販売先】—
【購入先】—

 代表取締役
横山 博之


事業内容 ● 特殊鋼材・加工製品の製造、特殊熱処理加工 設立 ● 1937 年
資本金 ● 8 億 2750 万円

従業員 ● 289 名 事業所 ● 本社 = 宮城県柴田郡村田町大字村田字西ケ丘 23
TEL0224-82-1010
工場 = 本社同所・土浦 営業所 = 仙台・東京・名古屋・大阪
ホームページ ● <http://www.tohokusteel.com>
Eメール ● toiawase@tohokusteel.com

軸一体型ポリゴンスキャナーモータの生産高世界一

独創技術とデジタルプロセス改革でオンリーワンのものづくり企業へ



↑ポリゴンスキャナーモータを搭載したデジタル複写機 imago MP7500

→ポリゴンスキャナーモータ



デジタル複写機や FAX などの製品に必要な不可欠な部品であるポリゴンスキャナーモータの開発・設計を進めてきた同社が、低コストを追求しつつ「俊敏な起動」「高速回転」「長寿命」「高精度」を達成したユニットパーツが「軸一体型ポリゴンスキャナーモータ」である。

これまで空気軸受モータは高価であり、この難点を解決しながら「軸一体型ポリゴミラー」と「油動圧軸受」の技術で品質・性能を確保している。デジタル複写機の高速度、高密度化、カラー化のニーズに対応し、ミニマム数千回転からマックス5万回転まで、幅広い回転領域を包括、あらゆるオーダーに対応できるパーツを生産、この構造のモータは同社のオンリーワンパーツである。

世界一の経緯	複写機・FAX・プリンターなどの重要なパーツの一つである書き込みユニットは価格が高く課題であった。品質・性能を維持しつつ低コストでの生産を追及し平成 12 年に開発。以来世界ナンバーワン。
技術のポイント	ポリゴンスキャナーモータは各メーカーが油動圧軸受モータを主力に生産しているが、独自の技術で開発した「軸一体型ポリゴンスキャナーモータ」は市場クレームゼロの品質を誇っている。
企業の特長	「技術の東北リコー」の柱となるのが、光、エレクトロニクス、メカ、化学などの技術を駆使したデバイス・ユニットの製造である。これらのキーパーツを組み合わせて高品質の製品を提供している。
希望取引先	【販売先】— 【購入先】—

 代表取締役
 敦賀 博


事業内容●オフィスシステム機器、ユニット・デバイスの企画・設計・製造・販売
 設立●1967年

資本金●22億7245万円
 従業員●1310名
 事業所●本社・工場＝宮城県柴田郡柴田町中名生神明堂3-1 TEL0224-55-3211
 事業所＝東京、大阪
 ホームページ●<http://www.tohoku.ricoh.co.jp>
 Eメール●webadmin@tohoku.grp.ricoh.co.jp

情報産業用磁気テープ等用ナイフユニットの生産高日本一

サブミクロンオーダーに対応できる精密加工技術の確立。



高度情報化社会に欠かせない磁気テープには、サブミクロン単位のテープスリット精度が要求される。同社では、超々微粒タンゲストエンカーバイトなどの新素材ナイフを供給し、リアルな音声・映像を再現するテープ生産に貢献している。独自のノウハウで精度を極めるナイフユニットでも高い評価を受け、電池用極板や各種コーティングフィルムのスリッティング等多方面に利用されている。

また、超精密加工技術を活用し、液晶用カラーフィルターや光学フィルム、磁気テープ等のレジスト塗布工程に用いられる超精密コーティングダイの製造も品質・技術面で評価が高く、生産高で高い実績をあげている。

↑ナイフユニット
↑超硬合金製スリッターナイフ(下刃)



日本一の経緯	工業用機械刃物の専門メーカーとして培ってきた加工技術に応用し、著しい発展を遂げた情報産業業界向け刃物等へ進出。独自のノウハウにより精密加工技術を確立。
技術のポイント	スリッターユニット及びコーティングダイは、あらゆる加工精度がサブミクロン単位を要求されており、最新の加工設備や熟練された加工技術に基づき製造されている。
企業の特長	多様化高度化する客先ニーズに対応 最高級精度の精密加工技術の確立 全社品質管理体制の確立
希望取引先	【販売先】情報産業製品・情報産業機器メーカー 【購入先】超硬合金・特殊鋼メーカー

代表取締役
庄子 公侑



事業内容●工業用機械刃物の製造・販売 設立●1925年
資本金●5億円 従業員●340名

事業所●本社＝宮城県仙台市宮城野区港 4-15-1 TEL022-258-2233
工場＝多賀城・富谷・大阪
営業所＝札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・九州
ホームページ●<http://www.toyoknife.co.jp>
Eメール●honsya@toyoknife.co.jp

自由勾配側溝の生産高日本一

コスト削減と安全な街づくりに貢献。



→施工写真



同社はコンクリートの二次製品メーカーで、道路側溝やボックスカルバート(水路専用トンネル)、農業用水路、ヒューム管といった製品を製造している。なかでも道路脇等に埋設して使用される自由勾配側溝(VS側溝)は、同社開発の主力製品である。

高低差があっても使用できる土留め対応型、車両横断対応型、歩車道境界ブロック組合せ使用の街路用、排水性舗装対応型、雨水貯留・浸透機能付、景観配慮型やカルバート仕様などの商品群に加え、サイズも豊富で、多彩なラインナップを誇っている。

最近では、交通バリアフリー法に基づいた製品開発にも力を入れている。

日本一の経緯	経済的で、かつ強度的・美観的にも優れた製品を開発し、当時の建設省(現国土交通省)に重点的に PR 活動を実施した。その後、県・市町村への PR 活動を展開。
技術のポイント	商品開発のポイントを、高品質と工期の短縮、工事費の低減に絞り、多様なニーズを先取りして市場に对应している。製品だけでなく、道路工事の施工方法などにおいても、特許出願を行っている。
企業の特長	同社は土木工事中用コンクリート二次製品に絞込んだ専門分野で、創業当初から一貫して斬新な発想による新商品の開発を進めてきた開発型企業である。
希望取引先	【販売先】土木建設業者等 【購入先】—

代表取締役
細井 佐一郎



事業内容●コンクリート二次製品の開発・製造・販売
設立●1951年

資本金●1億6000万円
従業員●1120名(グループ全体)
事業所●本社＝宮城県仙台市若林区
卸町東1-1-52 TEL022-235-2311
工場＝40拠点 支店＝25拠点
ホームページ●<http://www.hsnet.jp>
Eメール●info@hsnet.jp

光ピックアップ部品の生産高日本一

高精度が求められる光部品を一貫生産し世界シェア 30%。



一般に金属ダイカストといえばアルミダイカストであるが、同社は従来難しいといわれていた亜鉛ダイカストでの高精度鑄造を実現。金型の設計から製作までを自社で行い、人の経験や知恵を付加した生産技術・製造工程の改善、既製ダイカストマシンを自社で改造した上で使用するなど、他社との差別化を図り、それにより低コストかつ安定的に生産できるようになった。現在では月 1000 万台以上の光ピックアップ部品を供給している。また、2001 年にはそれらの技術改善に対して、創意工夫功労者表彰文部科学大臣賞を受賞。

さらに近年、中国(大連市、深圳市)にも工場を構え、顧客ニーズに対応している。

→ 自社設計の二次加工自動機



日本一の経緯	亜鉛ダイカストでの高精度鑄造技術を深耕してきた結果、亜鉛部品では無理といわれてきたものを可能にし、顧客満足を得て大量生産を日本工場、中国大連工場で、年間生産高 3 億 300 万個以上生産するようになった。
技術のポイント	蓄積された、亜鉛ダイカスト技術と金型設計技術により鑄造での溶湯の流れをよくし、パーティングバリを極限まで発生させない技術身につけた。
企業の特長	多品種、少量生産を得意とし、短納期、低コスト化を図るために、自社開発の二次加工自動機を考案(設計)し、製作・生産している。
希望取引先	【販売先】家電、通信、電子、車載、医療器具、産業機具、ゲーム、カメラ等の分野 【購入先】—

代表取締役
堀尾 正彦



事業内容●精密亜鉛ダイカスト部品の鑄造、鑄造部品の二次加工、金型の設計・製作

設立●1986年10月
資本金●2000万円 従業員●95名
事業所●本社＝本社＝宮城県石巻市北村字高地谷一 21-2
TEL0225-73-2488
ホームページ●<http://www.horioss.co.jp>
Eメール●info@horioss.co.jp

稲わら畳床の生産高日本一

耐久性、緩衝性、吸放湿性に優れる、良質素材の稲わら畳。



畳の土台となる畳床は、稲わらを使った「本畳床」と木質繊維板・ポリスチレンフォーム板を使った「建材畳床」に分けられる。現状は、全国需要の 8 割が脱わらの建材畳床である。

昔ながらの稲わら 100%の本畳床は約 40cm に均一に積層された稲わらを 5cm程に圧縮されて造るため、耐久性、緩衝性、吸放湿性など畳としての性能は他を寄せつけないが、軽便な建材畳床が急激にシェアを伸ばしている。

そのような中で、宮城県は本畳床生産の 21%を占める最大の生産地として、全国へ出荷している。

日本一の経緯	本畳床の生産量の多い地域は宮城県の他、石川県、佐賀県など全国的に見て限定される。その中でも宮城県は良質な稲わらを厳しく選別。高品質な製品を製造し差別化を計ったことがニーズの拡大につながった。
技術のポイント	一枚の本畳床に使用される稲わらは、約 3 万 5 千本で、その稲わらを配層ごとに厳しく選別。均一に並べられた稲わらを圧縮することにより本畳床が作り出される。
企業の特長	畳床製造中小企業の改善発達。稲わらの生産地としての供給責任と日本文化の伝統でもある「稲わら本畳」を後世に残す。
希望取引先	【販売先】一般消費者、設計業者 【購入先】—

理事長
佐々木 正悦



事業内容●宮城県の畳床製造業者の協同組合、共同販売・購買事業
設立●1969年

出資金●120万100円
組合員●22名
事業所●本社＝宮城県石巻市湊町2-8-13
TEL0225-22-4508
ホームページ●<http://www.chuokai-miyagi.or.jp/hondatami/>

ウエットスーツの生産高日本一

海上保安庁採用の機能性とデザイン性を両立。



ダイビング、サーフィン、ヨット、ジェットスキー等あらゆるマリンスポーツのレジャー用、また海上保安庁、自衛隊、消防、警察機関といった業務用スーツの製造を行い、全国トップシェアを誇る。海上保安庁においては、95%のシェアを占めている。水中における機能性に優れ、デザイン性の高い商品を提供している。

従来の主要ブランド「MOBBY'S」(ダイビング)、「O'NEILL」(サーフィン)、「HYDREX」(業務用)に加え、平成18年2月、イタリアのマレス社(ダイビング機材大手メーカー)と業務提携を行った。さらなる世界中へのネットワーク、販路拡大に取り組んでいる。

→船をイメージした工場。
建物・通産省より「ぐつとて
デザイン施設」に認定。



日本一の経緯

「最大より最良」を目指し、顧客満足化への徹底努力で達成した。横浜、大阪、西日本の国内主要カ所に営業所を配するほか、欧州にも営業所を持ちグローバルに展開。

技術のポイント

ウエットスーツは保湿性と運動性の2つの機能が重要な商品価値として求められる。この相反する2つの機能を兼ね備えたスーツをATC技法(解剖学的動体追従カット)と呼ばれる高度なカット技法によって非常に完成度の高いスーツに仕上げている。

企業の特長

品質第一でお客様に信頼されるブランドを常に目指し、お客様の期待を超える開発力とサービスを心掛けるハイパーな職人集団。

希望取引先

【販売先】スポーツ用品ショップ、マリンスポーツ・サーフプロショップなど専門店 【購入先】素材メーカー、潜水機材メーカー

 代表取締役
保田 守


事業内容 ● ウエットスーツの開発・製造・販売
設立 ● 1975年

資本金 ● 8300万円 従業員 ● 76名
事業所 ● 本社 = 宮城県石巻市鹿又嘉右衛門345 TEL0225-75-2880
工場 = 1カ所 直営店 = 石巻1カ所
営業所 = 横浜・大阪・西日本
ホームページ ● <http://www.mobdy.co.jp>
Eメール ● cs@mobdy.co.jp